



軽費 / 特養 / 高齢者在宅サービスセンター / サービス付き高齢者向け住宅 / ケアハウス / グループホーム / 小規模多機能

No. 315号

2014(平成26年)5月

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 TEL 042-527-0031(代) FAX 527-2646

発行人: 橋本 正明

編集: 広報委員会

ホームページ: <http://www.shisei.or.jp/> Eメール: shisei-home@shisei.or.jp

Shisei Senior Service Center

至誠ホームでの一年間の研修を終えて

至誠ホーム 統括事務局 研修生 橋 詰 龍

橋詰さんは企業から一年間福祉事業の研修で派遣されていました。一年間の感想をお寄せいただきましたのでご紹介させていただきます。

◆はじめに

昨年は桜の開花が早く、私が至誠ホームに着任した4月は、満開を過ぎた頃でした。それでも、根川沿いの小路は桜や若葉、鳥や川のせせらぎなど、心洗う絶景でした。

私は明治安田生命本社から1年間、至誠ホームにやってきた研修生です。少子高齢化が進展するなか、生命保険会社は介護保険や医療保険の開発・販売に力を入れ始めています。介護現場を学び、その体験を会社に持ち帰る初めての試みとして、社内で公募があり、ぜひ勉強したいと志願してきました。

至誠ホームでは、統括事務局に籍を置き、新施設建設の準備やボランティアの方々、実習生の受け入れなどを間近に見ることができました。また、至誠ホームは立川錦町だけでなく、幸町、国分寺市、調布市にも特養やグループホーム、訪問介護事業所などがありますのでお邪魔させていただき、ケアスタッフの献身な働きぶり、お年寄りの環境を少しでもよくするための園長方の工夫を数多く勉強しました。

◆「サービス対効果」を考える

至誠ホームは地域の皆様との密接な関係を

築いています。年間延べ1万5千人ものボランティア、保育園や小学校の子供たちも頻繁にホームを訪れてくれました。6月には後援会・ボランティアへの感謝の集い、7月は納涼大会、10月はバザーと目白押しでした。冬はクリスマスや餅つきなど季節を感じさせる行事で、お年寄りたちの笑顔がこぼれたことが心に残っています。

そして、その豊かで充実した時間をケアスタッフ達が懸命に、しかし自然に作り上げていることに驚きをかかせませんでした。すべからく企業は、効率重視で、目的の達成に全力を尽くします。ケアスタッフは日々のケアに集中することで職責を果たすと考えていた私にとって、これは大きなカルチャーショックでした。

日々の仕事に忙殺されるだけでなく、どうすればお年寄りにもっと喜んでもらえるか、どうすればご家族や地域の方々より良い関係を築けるかを貪欲に追及する姿が、新人から経営層まで徹底されていました。私は、これを「サービス対効果」と名付けることにしました。企業は「費用対効果」を旨とし、効率経営を目指しています。それに対して、至誠ホームでは、「人手は少ないけれども、あ

れもこれも大切だ。それならば、お年寄りにとって最も効果的なサービスから行おう」という精神に満ちていると思います。

◆人材の育成について

驚かされたのは、高い価値観だけではありません。専門性の高さも特筆すべきことです。ややもすれば、介護は家庭の仕事の延長と捉えられることもあります。しかし、至誠ホームで見たものは、手厚い新人指導のもと、徹底して心と技能を磨く様子でした。教える側も教えることを通して、自らのやり方を見直す機会としています。新人の一年間の成長記録に、ホーム長や園長が丁寧なコメントやアドバイスを書いて、一人一人に返していることがとても印象的でした。

◆終りに

最後に、至誠ホームが掲げる「施設を中核とした地域包括ケア」について触れます。

これは、在宅介護を支える拠点として施設が積極的に働きかけようという理念です。平成29年4月開設予定の新介護複合型施設では、特養129床に対して、ショートステイを40床も用意します。

実は、これは経営面・運営面から考えると必ずしも合理的な判断ではありません。それにもかかわらず行うのは、地域が必要とする施設を作るという理念があるからです。効率重視と一線を画した社会福祉法人の伝統と強さに、驚きと感動を覚えています。

少子高齢化は、今後ますます加速していきます。介護サービスの拡充に加えて、介護に備える保険や年金を充実させることも重要です。ホームで学んだことを糧に、心の通った仕組みづくりを活かしていきたいと思っています。

至誠ホーム調布若葉ケアセンター 第1回ボランティア交流会

至誠ホーム調布若葉ケアセンター
セクションマネージャー

井上 富士子

至誠ホーム調布若葉ケアセンターも今年の1月で2周年を迎えました。デイホーム、グループホーム、居宅介護支援の3事業も地域の皆様に支えられて順調に推移しております。

また、その中でボランティアの皆様のお力で利用者の生活がより充実して参りました。ボランティア活動の内容としてはデイホームでは、将棋、絵手紙、俳句、習字等の活動支援、グループホームでは読み聞かせ等の支援となつております。また、ケアセンター全体では蕎麦打ち等のボランティアさんも来てくださっています。この2年間で延べ535名の活動実績となつており、確実にボランティアさんの活動が定着してきています。

本年3月9日に初めて当ケアセンターでボランティア交流会を開催させていただき、日頃の活動に感謝をする

とともに交流を持たせていただきました。当日は活動している11名中8名のボランティアさんの参加がありました。大村副ホーム長よりボランティアの意義、価値等についての講義もあり、昼食を挟んで自己紹介をしながらご意見等もいただきました。大変有意義な交流会となり、今後ともボランティアの皆さんと共同してコミュニケーションを深めながら利用者支援していきたいと思えます。

ケアセンターにとっても社会との懸け橋となり、爽やかな風を運んでくださるボランティアさんは、掛け替えのない存在です。今後とも多くの方にボランティア活動をしていただけるよう努力していきたいと思えます。



ボランティア交流会の様子

至誠ホーム
オンブスマン
デルヴェ!

去る平成26年3月
24日(水)、第43回利
用者相談委員会が
開催されました。

今年度2回目の利用者相談委員会で、10月以降に寄せられたご意見等の内の2件について話し合われました。

◆日中の看護師がいる時間帯だけでいいので、口腔からのど元に溜まってゴロゴロしている痰を吸引で取ってほしい。(要望) (25-03)

至誠ホームキートスにお住まいの方のご家族から寄せられた、ご要望です。
【対応】当初、ご要望があった段階では、「ここでは基本的に排痰マッサージを行う方針なので吸引は出来ない」という伝え方をしたのですが、委員会へ要望があったため再検討しました。

その結果、「訪室時に黄色の痰が出ているなら、排痰マッサージではなくまず吸引をする」という結論に至りました。ご家族へその旨お伝えし、ご理解頂きました。当初「出来ない」といった誤解を招くような一方的な言い方をしたことについて深く反省し、改めてお詫び致しました。

◆2月24日で引き落としのあった利用料について、何の料金だったのか教え

てほしい。(要望) (25-06)

昨年未までスオミデイサービスをご利用いただいていた方のご家族からのお問い合わせでした。

【対応】すぐに経緯の確認を行った結果、別の方と間違えて口座振替の手続きをしてしまったことに気づきました。その場でご連絡を申し上げ、後日担当者と副センター長で直接お詫びに伺い、返金をさせていただきます。

今回の一件を踏まえて、照合作業、確認作業という初歩的な作業が不十分だったことを認め、今後このようなことが無いようにと再認識致しました。

〈報告事項〉

平成25年度下期にいただいたお電話は、いずれも要望に関するもので、合計4件でした。またお手紙による申し出は0件でした。

〈山田美和子委員長のご退任〉

介護保険施行以来、約14年間の長きに亘って第三者委員を務めていただいた山田美和子委員長が、平成25年度をもってご退任となります。制度面だけではなく福祉の現場に深く精通しておられ、いつも我々を適切な方向に導いて下さいました。

これまでのご指導に深く感謝申し上げます。誠に有難うございました。

「至誠ホーム出版会について」

総括事務局 担当 松田光子

高齢者福祉の専門性の向上と福祉実践に対する意識の向上を図ることを目的とし、活動を書籍として出版することを担って、「至誠ホーム出版会」が平成2年より事業として開始されました。

出版会の事業が開始され20数年が経つなかで、「至誠ホーム高齢者福祉ブックレット」シリーズとしてナンバー⑨まで発行されています。第1号は至誠ホーム長著書「高齢社会に備える」(左)を至誠ホーム出版会が事業として開始された年に発行しました。



さらに、職員の実践活動として一人ひとりの利用者への生活支援への取組みについて、元明治学院大学の根本博司教授の指導を受けてきた内容を「至誠ホームにおける事例研究」として、また、業務改善の手法として至誠ホーム全体で取り組んだQCの実践もブッ

ックレットとして発行してきました。

プロジェクトで取り組んだ「施設における転倒事故」は、医師・看護職・介護職間の連携を通し調査、報告としてブックレットとして発行しました。

また、福祉人材育成の手引として「実習指導マニュアル」(左)もブックレットとして発行し、平成25年には新任介護職員指導・育成マニュアル、チューター制度虎の巻(改訂版)を発行し、他の介護老人施設でも活用されています。

一方、新日本法規出版株式会社より「高齢者福祉・介護事業 モデル文例・書式集」の執筆依頼を受け、至誠ホーム職員が日頃担当している項目について執筆を行い原稿料等の管理を併せておこなっています。

本来の目的である活動の書籍出版が、より活発に進められることが今後の目標に挙げられます。



第19回至誠ホームサービス向上大会

サービス向上委員長 益子総一郎

本年度のサービス向上大会は、3月14日(金)に立川市女性総合センターAIMで開催されました。

この大会は至誠ホームの職員がサービスの質の向上を目指して1年間掛けて取り組んできた内容と成果を発表し、至誠ホームの高齢者ケアを広く知っていたるために行われているものです。当日は外部の方、職員などを合わせて140名ほどの皆様が来場されたいへん盛況な大会となりました。

今回発表したサークルは、全17サークルが参加した3つの地区大会で代表



第19回至誠ホームサービス向上大会
最優秀賞受賞サークルのメンバー

となった「キートス特養4階」「錦特養4階」「至誠デイケアセンターホームケア」の3サークルでした。

審査の結果、「ヒヤリハットと情報共有ヘルパーの専門性追求を目指して」をテーマにした至誠デイケアセンターホームケアが最優秀賞を受賞しました。また、至誠ホーム天寿を全うするケア研究会が第三回報告を行いました。

なお、小集団活動の好事例として最優秀サークルのインタビュー記事と写真を情報誌「ポジティブプラス」(ブレン・ダイナミッククス社発行)に掲載いただき予定となっております。ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。

次に入賞した3サークルをご紹介します。

「下剤にたよらない排便ケア」

キートスブロック特養4階

1年間を通し、下剤に頼らない排便



ケアを実施していききました。

入居者の大多数は下剤を使用し便秘解消をしています。下剤による便秘解消は入居者への苦痛や精神的負担となつていきます。腸内環境を整え、苦痛のないその方に合った快適な排便ケアを行うことは、健康で豊かな高齢期の生活づくりに欠かせないものです。

痛みや不快のない快適な排便を目指すべく、各専門職との連携を図りあらゆるものを施行していききました。食物繊維や発酵食品、オリゴ糖、またオリブオイルなどを摂取することで腸内環境を整え健康なからだづくりを目指しました。

この取り組みを継続していくことで、便秘対応とは、オリゴ糖や食物繊維を摂取していくという「下剤に頼らずにやかに排便を促すか」という発想が定着し、下剤に頼らないケアが根付きました。

そして今後も便秘解消のためにさらなるアプローチを考えていきたいと考えています。例えば運動での便秘解消や排便時の姿勢に着目することなど、より良い排便・健康な身体づくりが出来るようケアに当たっていききたいと考えています。



「私はこういききたい!」

～アンケート結果から見えた
利用者の想う最期とは～
錦ブロック特養4階

利用者は、そう遠くない将来やってくるであろう「自分の最期」について、どのような想いをもっているのだろうか。その想いを聞くことで、利用者の望む最期をサポートできないかと考え、本テーマに取り組みました。

まず利用者の率直な想いや考えを聴く為に、アンケート調査を実施し、その結果をグラフ化することで、利用者全体の想いを客観的な数値で見ることが出来ました。

利用者のおよそ7割の方が「ホームで看取ってほしい」と回答していました。さらに個別インタビューを実施し、利用者の想いを詳しく聴いてみました。

その結果、家族などの大切な存在が「最期」を決めていくうえで重要な存在であること、自分の最期を自分だけでは決められないと考えている利用者が多くいたことがわかりました。

今回得られたデータや、利用者の想いを基に、利用者・家族と共に考え、一人一人のニーズに合わせた看取りケアにつなげられるよう取り組んでいきたいと考えています。

「ヒヤリハットと情報共有

～ヘルパーの専門性追求を目指して～
「スオミブロック至誠デイケア
センターホームケア

至誠ホームヘルプでは「ヒヤリハット」に着目し、小さな「気づき」や「発見」を増やすことに取り組みました。ヘルパーは利用者宅において、基本1対1でサービスを提供します。上司や同僚にその場で相談したり、アドバイスを受けることができないのがヘルパーの「独自性」です。

至誠ホームヘルプでは、一人の利用者に対して、複数のヘルパーが担当する「チームケア」を基本としています。事故を未然に防ぐため、情報共有の重要性に着目したのが今回のテーマとなりました。

「ヒヤリハット」の報告方法を簡素化し、「小さな気づき」を増やすことを目標としました。取り組みの中で、「映像による情報共有」という新しい試みにも挑戦し、さらなるサービスの質の向上の可能性を見いだせました。今回の取り組みによって、ヘルパー一人一人の意識が高まり、着実にヘルパーの専門性の向上に繋がっていくものと感じていきます。

「地域包括ケアシステム」における最前線の支援者として、さらなる質の向上に努めていきたいと思えます。

至誠コミホーム、 憩いの場の紹介

コミサービス室

土方充世



立川市柴崎町 3-18-18
TEL 042-548-0753

至誠コミホーム憩いの場合は、立川市柴崎町にある民家で午後2時～4時まで、地域の方たちと過ごすサロン活動をしています。

歌、百人一首、相談センターによる介護の勉強会、栄養相談などの勉強会、諏訪の森保育園との交流など毎月様々な活動を行っています。また、利用者の意見を取り入れてイベントも行っていきます。今年も、花見や、クリスマス会など予定しています。

今年度は、新たな試みとして、立川市の地域健康づくりグループ支援事業をコミホームで行うことになりました。

お近くをお通りの際は、ぜひお立ち寄りください。

受講生募集！「ホームヘルパー再チャレンジ講座」

スオミホームケア 吉岡 正品

至誠ホームヘルプでは、平成21年より「ホームヘルパー再チャレンジ講座」を定期開催しております。

介護の人材不足は、深刻な社会問題として、新聞やTVなどに頻繁に取り上げられています。ヘルパー不足でサービスを受けられない、いわゆる「介護難民問題」は今では過疎地特有の問題ではありません。団塊世代が75歳を迎える2025年には、介護人材の100万人増員が必要だと言われています。その一方、ヘルパーの資格を持つてはいるが、介護実務に携わっていない「潜在ヘルパー」は非常に多く、およそ有資格者全体の8割という統計も出ています。資格取得から時間が開いてしまうと、制度改定や認知症ケア

など新しい情報についていけないまま、改めて介護の仕事に就くの足を踏む方が多



など新しい情報についていけないまま、改めて介護の仕事に就くの足を踏む方が多

いようです。

本講座は、そんな「潜在ヘルパー」にスポットを当て、介護の担い手となる「即戦力」として、再び介護の世界に足を踏み入れていただくきっかけとなる大きな目的です。

参加者は、立川市内はもとより日野、昭島、国立、国分寺など近隣市の他、最近では清瀬や瑞穂など離れた地域からも多く参加されています。

「潜在ヘルパー」を対象とした講座は都内でも珍しく、「即戦力の発掘」に着目した取り組みはまだまだ少ない状況です。今後一層求められる介護の担い手を発掘し、サービスの提供者として社会のニーズにつなげていく、それは地域福祉を担う至誠ホームの役割であり責任と捉え、今後も地域福祉の充実に取り組んでいきたいと考えております。尚本年度は5回開講予定です。

錦町（至誠ホームヘルプ）

① 7月26日（土）、② 11月29日（土）

幸町（キートンホーム）

③ 平成27年3月28日（土）

① 6月21日（土）、② 12月頃（未定）

募集要項を至誠ホームHPなどに掲載いたします。皆様のご参加お待ちしております！

後援会コーナー

後援会費納入者ご芳名

誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。
平成26年1月1日〜平成26年3月31日
(敬称略・順不同)

- 庄司洋子 岸 幸子 辻口三穂子
- 高島陽一 田中章司 安本善理
- 鈴木榮治郎 深谷四郎 太田清勝
- 伊藤英雄 大倉秀夫 今井二三雄
- 村岡静枝 村岡四郎 関 一男
- 関 ヨシ 内田 稔 原田澄子
- 江口三枝子 中村邦夫 大越鉄雄
- 小林謙一 堀 満彦 御野秀雄
- 双葉食品徳崎健 橋本 茂 松田圭彦
- 橋本 亨 (有)やしの木 佐藤晏子
- クンプロダクト一級建築士事務所 竹村和子
- 坂本博子 小向敏江 清水富男
- 清水真理子 坂 幹子 小野二男
- 青山夏樹 渡辺秀子 町田 実
- 宮澤友子 村瀬博子 下瀬美智子
- 渋谷まさみ 田中幹子 光西寺
- 内藤 博 地引 憲 石射久乃
- 茂手木和子 (有)カナイメデイカル 中村静子
- 福島暁美 鈴木幾代 吉岡恵一
- 松島澄子 大西信一 星野孝子
- 松村文子 茂木ハマ子 星野孝子
- (株)サンプロス代表取締役馬場弘行
- 多摩中南米文化同好会 新林春子
- (有)三上鯉節店 鈴木 文 木宮絹枝
- 木宮和子 大谷内恭子 名取 誠
- 杉山俊子 (株)東京ボン・サンテ
- 熊谷育子 伊山陽子 井出キミ
- 村瀬文雄 堀江登代子 内田 務
- 山川和代 梅本順子 五十嵐和子
- 原 敏子 宮内雅子 Yシヨップ柳沢店
- 戸田理一 梶浦善江 岩谷淳子

- (株)多摩健康企画代表取締役佐々木則彦
- 佐藤美智子 三橋喜久 櫻井悦子
- (株)総合エンジニアリング研究所
- 松村恵子 清水悦子 上岡謙夫
- 高橋雪子 大塚千恵子 山本 豊
- 佐藤真弘 野末 至 磯野初子
- 岩崎不動産(株) 須田享子 常盤木 隆
- 岩田昭夫 貴志朋子 大山勝美
- 桜井典子 久保田敬一 菊川操子
- 土方一成 菅野 栄 種村和江
- 会沢喜代子 岩崎元郎 村田康子
- (株)トーコン 高部 博 菊池ヨシノ
- アオキ住宅機材販売(株)青木憲明
- アオキ住宅機材販売(株)青木憲明
- 木村登志 中島喜代子 福澤京子
- 岡田 清 矢島澄子 矢野慶子
- 石塚家具店 新井セツ子 菅野令子
- 三中西せい子 鈴木幸子 竹下富子
- 益子総一郎 吉崎武子 橋本百合子
- 相田茂子 甲斐千里 澤井光枝
- 小野瑛子 神山稔子 加藤 清
- 加藤道子 筒井常雄 田村雅子
- 渡辺正志 谷口一美 大館純子
- 芳野雅子 今野和子 大沢英一
- 天野公博 大澤早智子 竹内美幸
- 四戸康一 上岡トミ子 大家千枝子
- 長谷重子 百瀬千枝 三田憲次
- 三田美美子 富士野 桂 熊澤和枝
- 斎藤藤子 飯沼克美 辻口喜明
- 板谷初子 松本孝子 (株)サンエー電化
- 柴田道子 小倉洋子 工藤 剛
- 三宅奉子 大橋とし江 岩澤 純
- 金三津ゆき子 堤 政江 松永登貴史
- 高橋教子 山崎和子 原 忠昭
- 高橋久子 山岸とし子 馬場維男
- 安本善衛 安本サヨ子 清原サツキ
- (株)サポートジャパン 神田ミヨ
- 大山 一 及川清一 及川悦子
- 渡邊綾子 小野俊雄 志村久枝

以上197名

ボランティア受入/福祉学習協力状況

Table with 3 columns: 種類, 期間, 平成25年度 2月~3月, 平成25年度 累計. Rows include 一般ボラ, インターンシップ, ボランティア体験, 実習・研修, 体験学習, 見学・視察, ご慰問・ご招待.

ボランティア活動状況 活動内容別

Table with 3 columns: 活動内容, 期間, 平成25年度 2月~3月, 平成25年度 累計. Rows include 生活支援, 健康づくり, 生き甲斐支援, 地域支援, 行事, 事務等, ボランティア体験, 合計.

ボランティア活動状況 地区別

Table with 3 columns: 地区別, 期間, 平成25年度 2月~3月, 平成25年度 累計. Rows include 錦地区, 幸・柏地区, 国分寺地区, 合計.

<>はV体験で内数

至誠ホーム利用者状況 (平成26年2月1日~26年3月31日) ():実人数

Large table with 5 columns: 事業内容, 2月, 3月, 累計. Rows are categorized by 事業内容 (e.g., ふれあい夕ごはん事業, ホームケア食事サービス) and 事業種別 (e.g., 自主事業, 委託事業, 介護保険).

*入居施設定員 至誠特別介護老人ホーム150名、至誠ホームキートス70名、至誠ホームミナ小規模特養29名、至誠和光ホーム50名、至誠ホームスオミ・ケアハウス50名、至誠ホームスオミ・グループホーム9名、至誠ホームミナグループホーム18名
* サービス付高齢者向け住宅せせらぎ15戸 高齢者専用賃貸住宅「楽」7戸

ホーム日誌

平成年2月1日~平成26年3月31日
CH・ケアハウス、GH・グループホーム
自主研・職員自主研修会
2月
3月 CH・GH・せせらぎ合同豆まき
4月 サービス向上大会スオミブロック・ミナブロック統括事務局、和光ホーム/東京都実地検査(7)
6月 マーガレットサロン/都知事選挙不在者投票(錦特・和光)
10月 サービス向上大会錦ブロック地区大会
13月 給食委員会(和光)/コーヒータム(ミナ)
15月 ともしびご話話(錦地区)/ぷらつとなみきサロン(ミナ)
16日 おもちゃ図書館(キートス)/錦町芸能文化祭
17日 自主研「事故予防検討委員会報告」
18日 運営推進会議(若葉GH)
19日 サービス向上大会 スオミ・ミナ・和光・事務局地区大会
20日 和光役員会/自主研「認知症事例研究会」
22日 認知DH家族交流会(若葉DH)
24日 サレバ向上大会 キートスブロック地区大会
25日 運営推進会議(スオミGH)/居酒屋キートス
26日 運営懇談会(スオミCH)/食へ歩き外出車屋(和光)
27日 特和会おふくろの味(和)錦特/コーヒータム(ミナ)
3月 家族会幹事会(錦特・和光)
井原先生相談日(錦地区)
ボランティア交流会(若葉)
ホーム委員会・給食委員会(錦特)/餅つき大会(キートス)
給食委員会(和光)/食事懇談会(キートス)/コーヒータム(ミナ)
ありがとうの会(錦特)/せせらぎ懇談会/サービス向上大会本大会

感謝録

15日 キートス集会/ぷらつとなみきサロン(ミナ)
16日 法人と錦六会合同防災訓練(錦地区)/おもちゃ図書館(キートス)
19日 春の彼岸供養祭
20日 和光役員会/中長期計画策定委員会/居酒屋キートス
24日 利用者相談委員会
25日 ボランティア交流会
26日 和光集会/感謝の会(和光)/運営推進会議(ミナ)
27日 全体集会(錦特・和光)/運営懇談会(スオミCH)/コーヒータム(ミナ)
28日 誓いの式
29日 26年度法人辞令交付式/理事会評議員会
①金員の部
温かい御支援・御協力下さいました方々に厚く御礼申し上げます。(敬称略)
平成26年2月1日~平成26年3月31日
小川昌子 西山久恵 内田稔
山川和代 佐藤美智子 安藤道子
盛生高子 橋本百合子 相田茂子
竹内美幸 小松滋・万壽子 百瀬千枝
立川教会山崎きみよ 堀 岳生
安本善博 奥脇光子 前中光雄
渡邊綾子 高島陽一 関 一男
関 ヨシ 大倉秀夫 江口三枝子
中村邦夫 小林謙一 御野秀雄
双葉食品徳崎健 松田圭彦 坂田幹子
橋詰 享 佐藤晏子 坂 幹子
若林美保 町田 実 今野和子
光西寺 地引 憲 船橋優子
茂手木和子 志村久枝 福島暁美
中村静子 大西信一
(株)サンプロス代表取締役馬場弘行
(株)三上饅頭店 大谷内恭子 熊谷育子
原 敏子 戸田理一 下東玲子
櫻井悦子 清水悦子 上岡謙夫
高橋雪子 宮崎富司 大塚清人
佐藤眞弘 矢沢歯科医院 菊川操子
林のり子 坂本秀高 岩崎元郎



- 〔柳山堂薬局代表取締役松山宏〕
 近藤れい子 竹ヶ原郁子 菊池ヨシノ
 木村登志 木島三郎 中島喜代子
 福澤京子 岡田 清 矢島澄子
 三中西せい子 竹下富子 吉崎武子
 伊藤英雄 神山稔子 水越栄子
 蔵田郁枝 大館純子 芳野雅子
 上岡トミ子 長谷重子 百瀬千枝
 富士野桂 熊澤和枝 齋藤藤子
 すぎもと米店 板谷初子 松本孝子
 柴田道子 大橋とし江 岩澤純
 松永登貴央 ㈱ブラザメディカル
 山岸とし子 安本善衛 安本サヨ子
 清原サツキ 堀田裕一 及川悦子
 小野俊雄 堀田裕子 倉本 宣
 須崎昭平 結城久雄 大村洋永
 益子総一郎 あゆみの箱

② 物品の部

117件 (延395件)

- 堀江和久 小川 進 佐藤由紀子
 ㈱川原経営総合センター「ふくろう」会
 事務局 アビリティーズ・ケアネット
 ト(㈱)会長兼社長伊東弘泰 片山正雄
 浅見千恵子 彦田ヒロコ 慶野壽枝
 澤井律彦 天野三千子 公益財団法人
 江戸糸あやつり人形結城座
 (社)福東京都社会福祉協議会東京善意
 銀行 16件 (延128件)
- ③ ボランティア
 (1) 一般ボランティア (錦地区)
 【立川市】 菊正会 おはなしたまご
 NPO法人立川レクリエーション協会
 オカリナサークルグループにじ
 髪職人 錦六茶友会 鈴の会 すだち
 の会 談話室アイアイ なでしこ
 日本キリスト教団立川教会
 みどりの会 もみじ会 遊木会
 立正佼成会壮年部ボランティアチーム
 朗読サークルこえ
 相田茂子 赤松富子 麻生ミエ
 綾部 勇 安藤道子 五十嵐和子
 伊藤信子 今村サユリ 岩谷淳子
 梅津美和子 及川悦子 及川清一
 大古春子 大澤康子 太田 利
 大館純子 小川 隆 奥 一郎

- 奥 陽子 小栗カツ子 尾蘭菜子
 小俣かつ江 梶浦善江 加藤衣子
 加藤典子 金澤シズ子 萱 信一
 川崎秀子 神田ミヨ 岸 幸子
 木村千世子 蔵田郁枝 黒羽里枝
 小松万壽子 近藤庄司 坂本美智子
 佐藤さち 佐藤美智子 篠原園子
 篠村綾子 ジョージ兼路 杉田幸子
 鈴木恵子 鈴木幸子 田中 暁
 田中由紀子 玉井末子 田村和子
 田村雅子 坂場雛子 遠山百世
 戸田フミ子 永山幸子 西川瑛里
 野口初子 野村祥子 橋本美津子
 橋本ライヤ 島山知也 浜中広見
 深水芳子 古谷文子 宝諸博文
 前中美佐子 前中光雄 松田廣子
 百瀬千枝 矢倉弦雄 安ヶ平金造
 山岸國麿 山口京子 山田ハル江
 山本久仁子 吉川厚子 吉田一男
 米山勝利 ロング恵子 若村ふみ子
 ロング・ブレント 渡部調匡

【日野市】ウケホア(ヘル)

クイーンマジッククラブ

- 目黒美知子 池田貞栄 石井匡代
 今井幸子 岩下昭子 大場春子
 金尾眞砂子 倉林 武 小塩菊子
 須山ひとみ 竹内美幸 直井 節
 永島律子 西垣まき子 西野益右
 西山寛子 平沢一雄 吉崎武子
 蔵多美智子 国生友子 小見伊津子
 温品典子 久野安沙子 松本良一
 向井みどり 青島慶子 木下恒雄
 木下ほか 芳賀邦正 前田博美
 真如苑社会貢献部

【国分寺市】GEキャピタル

ともしび法話会

- 聖書の会 ともしび法話会 佐藤杏南
 阿川聰子 磯崎静子 板倉 萌
 小川滋子 加藤晴枝 島村正博
 鈴木保明 瀬戸章子 丹治信江
 中財真紀 吉岡正晶 延91名
 一般ボランティア(コミホーム)

- 【立川市】 阿部志げ子 磯野俊雄
 大井田フサエ 加藤 清 金子元衛
 金三津ゆき子 永山幸子 宮下皆子
- 【日野市】 小澤洋一 延47名
 一般ボランティア(キートス) 音楽隊
 おもちゃ図書館 朗読サークルこえ
 立川マンドリンクラブ
 青木豊子 青木融子 浅川恵子
 荒井和子 生澤清子 池田三郎
 石川悦子 板野多枝子 市谷諒子
 伊藤和子 稲垣明子 岩田綾子
 梅津美和子 及川宏克 大庭文子
 大森千代子 奥野智恵子 織原良江
 加賀晴子 金森 耐 樺沢啓二
 神山喜久江 菅生佳子 河村裕理
 菊池正勝 北瀬明子 絹谷光江
 木村浩通 草場久子 栗本和夫
 紅林由美子 黒田眞知子 桑原由貴
 河野美和子 小昏久美子 齋藤 博
 酒井恵子 櫻井百合子 佐々木サチ子
 笹田恵子 澤田昭代 静田記代子
 鈴木洋子 諏訪幸子 関根太治
 高橋 貞 高橋明子 高橋喜久江
 高橋征子 高橋ひさ 高橋雪子
 高橋好弘 武井容子 田中清子
 田中秀穂 田中真知子 田中美智子
 田邊シゲ子 谷本鈴響 塚原寿美子
 辻 靖子 鶴巻清子 豊田さゆり
 鳥居美都琉 中沢京子 中嶋カツ子
 中根幸子 中野庸夫 成田 綴
 西村次子 西山靖子 二瓶祥子
 服部ちづ子 濱田弘子 羽村ミサ子
 平千代子 藤原大生 古田栄治
 別府ひろ子 松本恵美 本間和吉
 町田好久 松本和美 松本和美
 溝口礼子 三中西せい子 三中西博介
 宮坂一栄 持丸 治 持丸弘子
 本木紀作 元島美子 桃野幸子
 谷治晴子 山川和代 山口弘子
 山崎絹江 吉村竹美 米澤 稔
 若月里美 渡辺佳子 渡会和子
 渡会弘恭

【国分寺市】井上允恵

小野千代

- 小野俊雄 勝倉ナホミ 加藤康子
 鈴木幸子 時枝由美子 中山淳子
 橋本美穂 藤本陸代 山本佳子
 【他市】 ロゼラニ・ウィングス
 とみんのメガネ

- 乾 由紀子 内田喜美子 内田純子
 大西次子 小澤 廣 河辺敬之
 河野秀子 児玉早苗 後藤陽一
 今野正人 櫻井千佳子 佐々木染子
 鈴木真弓 鈴木洋子 高野信子
 伊達美紀子 手崎直美 寺崎勢津子
 富永勝人 富永允信 豊田栄一
 錦織雅子 野本まゆみ 林 幸子
 土方和子 肥田木雅子 福島央巳
 保坂栄子 松井順子 村田敏郎
 山越美津江 山田佳子 横川澄子
 横川好行 若杉恵美子 渡辺保子
 一般ボランティア(柏センター) 延77名
 東トク 石橋京子 市村敏雄
 岩田綾子 潤井和子 大山紀子
 黒田直子 小林正子 小林好子
 小山安子 篠田紀子 鈴木真弓
 高橋明子 高橋雪子 中野庸夫
 羽村みさ子 土方和子 平野富士枝
 広木かほる 福西正弘 師岡恵美子
 鷲沢美美 延130名

【国分寺市】井上和江

大澤早智子

- 角 文喜 河崎喜代 熊崎咲子
 熊崎 弘 栗原克徳 笹谷信子
 佐野文子 杉浦美美子 滝沢百合子
 中村啓子 新澤 明 原垣内和加子
 三谷雄次 宮シスターズ
 山根 泰宇 延98名
 一般ボランティア(もとまち)
 【国分寺市】 国分寺市赤十字奉仕団
 石橋幸子 池田幸子 島 義人
 仲 静宏(他9名) 横山交子 和田博子
 山本賢弥 松沢エミ子
 【他市】 菅野彰子 福田洋子
 吉富晶子 萬 由美 延50名
 一般ボランティア(調布若葉)
 【調布市】 石橋隆二 江上芳子
 遠藤おかり 遠藤葉月 押部忠康
 上條剛史 小泉圭右 齊藤 孝
 椎名ひさよ 田代和美 中澤禮吉
 深瀬やす子 森川恵古 萬 由美

渡辺隆雄

延49名

- 一般ボランティア(調布柴崎)
 【調布市】 田村眞智子
 シュナイダー由貴 延20名
 (2) ボランティア体験
 (錦)
 至誠保育園 多摩信用金庫 加藤修平
 川口京子 立石日菜 立石利子
 樋口千菜津 樋口日菜子 丸岡寛美
 山本直樹 延64名
 (キートス)
 (柏センター) 首藤英貴 延13名
 (ミンナ) 延3名
 (もとまち) なし
 (調布若葉) なし

福祉学習協力

(1) 実習研修

◎社会福祉士実習

- 大妻女子大学 畑中美紀(24日) / NHK学園 高木貴志(12日) / 十文字学園女子大学 横坂育代(8日) 3名 延44日

◎ユニットリーダー研修

- 山口勝・木村純子・上原知久・長島正幸・大西祐輔・太田祐介・本島健吾・武井梨沙・古滝徹・岩田充・渡部陽子(各5日) 11名 延55日

(2) 体験学習

◎教員免許取得のための介護等体験(錦地区)

- 東京経済大学 / 明治大学 / 東京学芸大学 3名 延15日

(3) インターンシップ

(キートス) なし

(4) 見学・視察

- 社会福祉法人うるうるのホーム(4名)・社会福祉法人園盛会(7名) 計11名

(5) ご慰問・ご招待

- 国分寺市介護サポーター(2名)・国立音大OG(5名) 計7名

地域包括支援センターコーナー

立川市北部中さいわい地域包括支援センター 042-538-2339
 立川市にしき福祉相談センター 042-527-0321
 国分寺地域包括支援センターもとまち 042-301-5001
 国分寺地域包括支援センターなみき 042-300-3702
 国分寺地域包括支援センターほんだ 042-300-2339
 調布市地域包括支援センター至誠しばさき 042-488-1300

地域包括だけじゃない？

「立川市く福祉相談センター」の紹介

立川市にしき福祉相談センター 坂木 淳史

「福祉相談センター」は、高齢者をはじめとした市民の皆様の「よろず相談窓口」です。

相談といえは地域包括支援センターを思い浮かべる方も多いと思いますが、福祉相談センターは、地域包括支援センターのプランチ（支所）の位置づけになります。市内3ヶ所に設置されており、高齢者の介護や生活に関する困りごとを中心に他の専門機関と連携して対応しています。

至誠ホームで受託しているのは「立川市にしき福祉相談センター」です。立川の中でも歴史が古い柴崎町、そして錦町を中心に、地元のネットワークを生かして地域への貢献ができるよう努めています。

また、「来所して相談したいけれど錦町の窓口は遠い」という方のために、柴崎町の至誠「ミホーム（仮

042-548-10753)でも随時出張窓口を開きます。

ご相談への対応、各種申請代行のほか、福祉相談センターは介護予防教室と家族介護者教室などの企画を開催しています。ご本人を対象とする介護予防教室は、毎月第2水曜日に「勉強しまししょう／介護のあれこれ」を「ミホーム」で開き、「介護保険「認知症」災害時対応」など参加者の関心に沿ったお話を提供しています。

また毎月第3金曜日には、錦町のサービス付き高齢者向け住宅の談話室にて「せせらぎ健康体操教室」を行い、介護予防の習慣づくりの、そして、その場が互いの支え合いグループに発展していくことができるようお手伝いしています。

そのほか、年間2回、市内全域を対象とした企画もおこないます。平成

25年度は、7月には介護予防ヨガ教室11月には精神科医による認知症に関する講演会を行いました。家族介護者教室としては、こちら7月2回、他のいくつかのセンター、そして立川市との共催で「介護のつどい」を開いています。グループ懇談会で心の重荷をおろしていただき、さらに必要な情報を得ることが出来る場として、そして市内各地の介護者教室をご紹介するための窓口として機能できるように継続的に開催していきます。

最後に、3つの福祉相談センターも併せてご案内いたします。お近くの方は、ぜひご利用ください。

営業時間はすべて、
月曜日～金曜日 9:00～19:00、
土曜日 9:00～17:00です。

○「立川市にしき福祉相談センター」
TEL 042-527-0321

錦町6-28-15
*甲州街道沿いのレンガ色の建物1階至誠デイケアセンター内。

○「立川市かみすな福祉相談センター」
TEL 042-537-7799

上砂町1-13-1
*大山団地16号棟1階、団地の頼れる相談窓口。上砂地域福祉サービスセンター内。

○「立川市にしき福祉相談センター」
TEL 042-531-5550
西砂町5-15-5

平成26年度至誠ホームボランティア講座のお知らせ

「お年寄りの思いを残してあげよう」～傾聴を形に～

お年寄りの話に耳を傾けその思いを形にして残す方法を学びます。

講師：大塚典子氏（臨床心理士）

第1回 6月18日（水） 講義 13:30～15:30

傾聴（お話を聴く）、自分史について、ロールプレイ

第2回 6月24～26日のうち1日 実習

第3回 7月2日（水） 講義 13:30～15:30

記録の残し方、どのように簡単な一冊の自分史にしていくか。

どのような効果が高齢者自身や高齢者にかかわる人々にあるのか？

※詳しくはボランティアコーナーまでお問い合わせください。

Tel 042-527-0035

*立川市西部、米軍横田基地東側の広域を担う唯一の拠点。西砂ホーム内。
「立川市く福祉相談センター」は、今後も行政、地域の関係機関、サービス事業者、民生委員の方々など、多方面の協力を仰ぎながら市民の皆様のお役に立てるよう日々の業務に取り組んで参ります。
ご相談は、お電話、ご来所、こちらからのご訪問といずれの形でも対応できます。どうぞお気軽にご連絡ください。